



画家として確かなキャリアを築いてきた田中麻記子さん。

近年ではパリを拠点に、イラストレーターとしても精力的に活動しています。

小学生の頃、画家として成功すると決めて以来、

夢の実現に向けてまっすぐ走り続けてきた田中さんの足どりに迫ります。

Photo アキタカオリ Text 立古和智

かし、それを型紙に落とし込む段階でつまずき 描いたデザイン画ではよく褒められました。し ことにも触れたかったからです。実際、自由に

の女優をまねて坊主にしたときは、さすがに先 れます。私も自由を謳歌したものです。憧れ を受け入れてくれるから、誰もが個性的でいら 属の高校では制服こそあれど、あり 自由な校風-「将来は画家」と決めていた私にとって、ここ から呼び出されましたけどね(笑)。 -。私にとっての女子美です。

想像して描くのが大好きでしたし、絵画以外の 服飾デザインを選びました。女の子のドレスを ば、きっと何かに結びつきます。今でもそう信 て、ずいぶん先走っていたな」とも思いますが、 頃です。今振り返れば「高校生が個展だなん 大切なことはやってみること。動き続けていれ 画家になるという夢を持ちながら、短大では

> で「画家になる」という思いは、より一層強まり は根つからの感覚派だと痛感しました。おかげ ます。服飾デザインは極めて数学的な世界。

たから、辛くはありませんでした。 かったとは言いませんが、描くことが大好きだっ アルバイトをしました。そんな日々に不安がな るほど甘くはありません。ですので、いろんな る日々を送ります。 転機となったのは、ある美術館のジェネラルマ 卒業後は、貸しギャラリーで絵を発表し続け もちろんすぐに絵が売れ

た。貸しギャラリーで個展をしだしたのもこの での学びはすべて夢へとつながるのも嬉しかっ

術に造詣の深いお客様が足を運んでくれる機 事を託せるエージェントとの出会いは幸運です。 紹介していただくに至ります。 けられたのを機に、自信作ができたら連絡を だいた際に、「もうふた頑張りだ」と発破をか し、ついには私が専属契約を結ぶエージェントを 私たち作家にとって、創作以外のすべての ージャとの出会いです。初めて絵を見てい ーガナイズしてもらうと、美

### 田中麻記子(たなか・まきこ)

画家。1996年、女子美術短期大学服飾科服飾デザインコースを卒業。2009年、第12回岡本太郎現代芸術賞展入選。2013年、 文化庁在外研修員として渡仏したことをきっかけに、パリに拠点を移す。デッサン集『La collection gastronomique』を上梓したの を境に、イラストレーションを手がけるように。ピエール・エルメ・パリ・ジャポン青山店のシンボル「Macaron Baby」のデザイン、資生堂 「花椿」Web版でコラム「空想ガストロノミー」を連載する。アートシーンに留まらない活動で注目されている。

## 細胞の声に 忠実に

「空想ガストロノミー」/ 資生堂ウェブ「花椿」旬の食べ物をテーマとしたGIFアニメとコラムの連載





ピエール・エルメ・パリ青山店のシンボル 「Macaron Baby」/ ピエール・エルメ・パリ



アーティストKitri「雨上がり」のためのアニメーション/ NHK「みんなのうた」



パリを拠点とする田中さんのアトリエ







は、創ったものが次

ることは無類の喜

は、描きたい絵だけ

きで描くこと自

ことも、ここ数年で

くれた方も多いよう

私の画

て、依頼を受けてく collection gastronomique たが、今もパリを活

研修期間はあっ

集になります。 collection gastro とにしたのです。こ

もうひとつの転機は、

き続けていれば何か

会も増えます。す

### (05

## 学校法人女子美術大学 創立120周年記念式典・記念講演会

# 和2年度 学校法人女子美術大学創立記念祭



20周年を迎えました。 2020年10月30日、本学は創立

よび「令和2年度学校法人女子美術 同日、「学校法人女子美術大学創立 20周年記念式典・記念講演会」お

> 開催。 学内役職者などが臨席しました。 大村智名誉理事長をはじめ、理事、 ら120周年を迎えたことを祝して、 大学創立記念祭」を杉並キャンパスで 1900(明治3)年の創立か

よりご挨拶がありました。 理事長及び創立者縁者の佐藤泰彦様 達次郎先生の各胸像への献花後、福下 横井玉子先生、佐藤志津先生、佐藤 智名誉理事長、 祭」が行われ、福下雄二理事長、大村 年度学校法人女子美術大学創立記念 はじめに、創立者像の前で「令和2 小倉文子学長による

挨拶がありました。 **倉学長より本学120周年を祝うご** 念講演会」を開催。福下理事長や小 術大学創立120周年記念式典·記 - 201教室にて「学校法人女子美 創立記念祭終了後には、7号館

子美術学校が創立されました。横井 性によって、本学の前身であります女 に横井玉子、佐藤志津という2人の女 式典では、福下理事長より「今から 20年前の1900年、明治33 年

> で明治近代国家の青写真を描いた構 教育の門戸が閉ざされていた時代で 佐藤志津先生は順天堂第3代堂主夫 井小楠先生の流れをくむ女性であり、 玉子先生は、幕末の政治社会思想家 人であります。当時は、女性には美術

学があるのは先人のご労苦の積み重ね 熱い思いが凝縮されており、 応え、先人のご労苦に報いるため、 原点に立ち返り、創立者の熱い思いに の上にあることに思いを致し、創立の 二次世界大戦、幾多の困難、苦難の歴 災による校舎の焼失、関東大震災、第 の経営難による廃校の危機、2度の火 はありませんでした。創立間もない頃 創立以来、本学の歩みは平坦なもので と受け継がれてきております。しかし、 の精神は120年経った今日まで脈々 く、芸術による女性の自立を建学の精 した。この建学の精神には、 あり、女性に美術教育の門戸を開くべ 0年を機に、改めて、 女子美術学校が創立されま 今日に至っております。創 この建学 創立者の

> に与えられた使命であると考えていま学の更なる発展に努めることが我々 す」とご挨拶いただきました。

子美の教育に繋がっていることに感動 今 考える力が必要であるということを、 こには教養の教育を通して得られる、 の根底にあるものを表現できない、そ 引き継いだ佐藤志津先生は、クリエ の今日、横井玉子という1人の女性 を覚えます。本学を創立した生みの母 これらの先生方の深い思いの全てが、 いった教育活動に引き継がれています。 献につながる産学連携プロジェクト 学の精神も、社会とつながる、社会貢 した。そしてまた、横井小楠先生の実 当時の生徒たちに繰り返し伝えていま ションするためには、美術だけではそ かにしようと考えました。また、後を のの全てをアー なりました。横井玉子先生は、人が生 の女性の強い思いが女子美という形に もなお色褪せることなく、現在の れて、生きて暮らす、身の回りの 小倉学長より「120年前 トやデザインの力で豊

先生からのバトンを引き継ぎ1 んで参りたいと思っております」とご 見守られながら、これらの施策につき す。横井玉子先生と佐藤志津先生に 議論が行われているところでございま ショニング』の検討についても、活発な 員が協働し進めている『女子美のポジ になりつつあります。また、教員と職 育については、時間をかけ模索し、 始まっております。 展に導いた、育ての母である佐藤志津 思を引き継ぎ、その後の女子美の発 である横井玉子先生、そして、その意 ればいけないのか』ということを考 して良い報告ができるように、一層励 現在本学では様々な施策の検討が 私たちが『今、どう動かな 女子美の新しい教 20年 形

理事長を務められた大村智名誉理事 式典閉式後は、本学で長きに渡り

> れていた話などを語られました。 である山梨県の歴史書物にも登場さ 生のご先祖が大村名誉理事長の郷里 郎先生との繋がり、そして横井玉子先 里大学研究所を創立された北里柴三 実学党の系譜にも名を連ね、後に北 の繋がりや、横井小楠先生による横井 方々と歴史に名を刻む著名な方々と るまでの背景や創立にまつわる縁者の の家系図や系譜を基に、本学創立に至 講演会では、はじめに横井家や佐藤家 藤志津先生についてお話されました。 た人たち」と題し、横井玉子先生や佐 女子美」が行われ、「女子美を創り育て 長による記念講演「愛しき園よ、汝は

る大村名誉理事長が掲げた「オー 年事業のお話、今もなお継承されてい 最初に手がけられた女子美100周 就任されてからのお話や理事長として 女子美術大学の理事長に

> の作品などについてお話されました。 ジ先生との交友と、大村名誉理事長よ 士である彫刻家のジュリア 子美構想」について語り、本学名誉博 本学へご寄贈いただいたヴァンジ先生

れた記念碑の紹介が行われました。 賞を記念し、杉並キャンパスに建立さ 村美術館の紹介、大村名誉理事長の 性作家の作品を常設している韮崎大 生の作品も多数収蔵し、日本で唯一女 名誉理事長が館長を務め、本学卒業 学卒業生との交友エピソードや、大村 そして、大久保婦久子先生といった本 本学名誉教授である片岡球子先生、 である堀文子先生、多田美波先生や、 講演会の後半では、本学名誉博士 ーベル生理学・医学賞受

く彫刻家であるロダンに言われた「自 期の彫刻家である荻原碌山が、同じ 最後に大村名誉理事長から、 明治

> 締めく ろに」という大村名誉理事長のお気持 然を見ることで問題が解ることが ご自身の研究が行き詰まった時に自 然から学びなさい」という言葉から、 ちを表されたメッセージで記念講演を とお話いただき、「光をそえよまごこ らず、科学や他の分野にも共通する 彫刻を造るといった芸術の世界に限 学ぶ」ということは、絵を描くことや 多々あることをふまえ、「自然を見て くりました。

長に、吉村久子同窓会会長より花束 なりました。 に思いを馳せる大変意義深いも 会ともに、 の贈呈が行われました。式典・講演 永久名誉会長も務める大村名誉理事 講演会終了後には、本学同窓会の 本学のこれまでの道の

WEBサイトにて配信されました







山口裕子さん(株式会社サンリオ ハローキティデザ イナー /芸術学部産業デザイン科卒業) と桃井かお り先生(女優・映画監督/女子差術大学付属高等 学校卒業、本学客員教授)からのお祝いメッセーシ

## 創立 120周年記念特別番組をBS朝日で放送

玉子先生の亡き後、その意思を引 た生みの母である横井玉子先生と、 日10月31日にBS朝日で放送され 生涯~」が、本学創立記念日の翌 創立120周年記念事業の特別企 ます。番組では、 佐藤志津先生の2人の母が存在し き継ぎ発展に導いた育ての母である 子と志津、女子美術教育に捧げた 子は是れ美術の天使なるべし~玉 として制作された特別番組「女 女子美術大学には、創立し 女性に美術教育の

に、芸術による女性の自立と社







れDVDパッケージ化されました。

ンテキスタイル表現領域卒業)と 学部絵画科洋画専攻卒業)、横井 横井玉子役に奥田恵梨華さん(短 ナビゲーターは女優の檀ふみさん の女子力~」と2部構成で編集さ を収録した「大学紹介~ JOSHIBI する若手卒業生のインタビュー "今"や、女子美を巣立ち社会で活躍 れた番組映像は、女子美の教育の OGが多く携わりました。放送さ 付属高等学校の卒業生で、女子美 る卒業生が出演。また、ナレーショ いった、現在女優として活躍してい みや役に小川オペラさん(芸術学部 佐藤志津役に森脇由紀さん(芸術 大造形科情報デザイン専攻卒業)、 が務め、番組内の再現ドラマには、 た女性たちの物語が描かれました。 を乗り越えながら時代を切り拓い 的地位の向上を掲げ、幾多の困難 門戸が閉ざされていた120年前 を務めた庄司宇芽香さんも本学 ト・デザイン表現学科ファッショ

### 日本橋髙島屋

### 「女子美術大学創立 PROMISING -Seven Artists from JOSHIBI-J $\begin{array}{c} 1 \\ 2 \\ 0 \end{array}$ 周年記念展 開催

屋本館6階にある美術画廊にて て作家への出品を呼びかけ、 覧会は、本学短期大学部教授の 8月5日から11日まで開催。展 7名による展覧会が日本橋髙島 躍が著しい本学出身の若手作家 校の創立105年を記念して、活 女子美術大学付属高等学校中学 女子美術大学創立120周年と 本雄三先生がキュレー アド

品には問い合わせも多く、作品購 注目作家による展示会のため、作 勉先生を迎え、選定された7名の う華やかな企画展となりました。 終日を迎え、創立120周年を祝 ました。展覧会は盛況のうちに最 入のために抽選を行う場面もあり 作品が展示されました。活躍中の 奈川県立近代美術館館長の水沢 ヴァイザーには本学客員教授で神







### 員 教授 假屋崎 省吾 先 生 オンライ ン 特 别 講 義 開

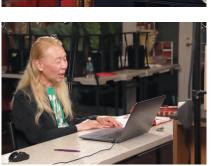
講義が行われました。 いけばなのパフォーマンスや画面共 ビデオ会議ツールを使用して配信。 ある花サロンからGoogle Meetの この講義は假屋崎先生のご自宅で ンライン授業として開催しました。 華道家の假屋崎省吾先生をお迎え した特別講義を、短期大学部のオ 月5日に本学客員教授であ ルでスライドを共有しながら いけばなの

器と流木を使用。花材には新緑の や、「お花を奇数の本数でいけると 意識しながら植物をいけると、美し バイスとして「不等辺三角形の形を 假屋崎先生は花をいける際にアド 映える紫陽花を用いて、コントラス 青々としたモミジと、紫とピンクが パフォーマンスでは、大きな陶製の花 格好良い構成になる」というお話 の美しい作品を完成させました。

体のバランスや構図について、実演 のショップデザイン等、写真と合わ 企画展や個展に加え、ショールー 作した、いけばなの作品はもちろん てお話いただいたほか、これまで制 て活躍する現在までの道のりについ 先生の幼少期からアーティストとし スライドを使った説明では、假屋崎 を交えながら解説いただきました。 作品にまとまり が出る」と、作品全

> 90分間の特別講義は学生たちに ドバイスや励ましの言葉を送られ、 る姿が印象的でした。質問ごとにア に対して假屋崎先生が笑顔で答え らたくさんの質問が寄せられ、質問 後の質疑応答の時間では、学生か とって充実した時間となりました。 せ幅広くご紹介いただきました。最









(07

間

同じく女子美の卒業生で、現代アー

トの国際展を通して関わりのある倉茂なつ子さんが伺いました。

東京とベルリンの二拠点で活動を続ける岩間朝子さん。

ーティストであり料理人となった経緯や、創作活動の背景について、

勢に強く惹かれて、

私も異国から訪

れたひとりとして昼食作りのプログラ

を持つ人たちを軽やかに巻き込む姿

人たちなど。さまざまな文化や背景

を持たないクルド人たち、ノマドのロマ

と、偶然その地を訪れた私、自国

ムをオ・

ガナイズしました。

このプロ

ヨコハマトリエンナーレ2020キュレトリアル・コーディネーター。2008 年女子美術大学芸術学部工芸学科陶コース卒業。2010年同大学院 美術研究科芸術文化専攻芸術表象研究領域修了。2013年より横浜 トリエンナーレに携わる。ほか批評系アートタブロイド紙「+journal」、 ワークショップ・展覧会 [on the earth project] などを企画。

### 倉茂なつ子(くらしげ・なつこ)

## ローマで建築家コレクティブの活動から刺激を受け、ベルリンへ移り住む

倉茂 ローマではどのような出会いがあ から人が集まり、テーブルと椅子を大 関わるラジオ番組で宣伝すると街中 グラムについて「Stalker」のメンバ

岩間 たまたま「A12」が関わるワ

事をともにしました。 きな円になるように並べ、

みんなで食

地域の周縁や境界といったテーマを探 ショップへ参加した際、ローマへ滞在し 求していました。 市における移民問題や、人々が暮らす す。彼らはワークショップを通してクル ね。この活動の中心となっていたのが たちと出会えたのは大きかったです ていたクルディスタンから来たクルド人 ーマの建築家グループ「Stalker」で 人のコミュニティの生活に関わり、都 クショップの参加者は、主催グルー

的でした。

にていねいに呼応していたことが印象 そのプロセスが、人のつながりや状況 場が、とてもシンプルに作られたこと、 食を通してお互いの文化を感じられる

外へ出ようと思ったきっかけになりま たオープンな会話や食事が心地良 所との巡り合わせ、そこで交わされ 岩間 そうですね。偶然の出会いや場 のですね。 く、とても自由だったことが、日本の といったテーマが、ローマで拡大された



「都市空間のあり方や人との関わり」 倉茂 岩間さんが日本で探求していた

昼食作りのプログラムではそれぞれの国の料理を協力しあって作った。岩間さんは現地で手に入るアサリで味噌汁をつくり振る舞った

## 建築家・アーティストによるプロジェクト

動をされていましたか? 倉茂 女子美を卒業後、どのような活

を得ていました。平日は派遣社員とし ることで飲食物を販売し、活動資金 のようなイベントです。カフェ形式をと の隙間とは何か」を問いかけるサロン いかに機能していないのか」「都市機能 げます。「公共の施設や空間が、東京で café」という共同プロジェクトを立ち上 学していた建築家に声をかけ「pop-up 仲間や建築家、博士課程で日本に留 消えて無くなるような)な事柄へ移り 徐々に興味がエフェメラル(一時的な、 岩間 大学では絵画を学びましたが、 て働き、夜間や週末に活動するという 1998年には学生時代の

「The Kitchen」の立ち上げと運営に、料理人 造形科絵画専攻卒業。現在はベルリン

エリアソンの食堂

聞き手: 倉茂なつ子 構成・執筆: 株式会补フリッジ

たち」、ヨコハマトリエンナーレ2020に参加。020年東京都現代美術館企画展「もつれるも10年間携わり、書籍『The Kitchen』を共同編集。

岩間朝子(いわま・あさこ)

6年女子美術大学短期大学

「pop-up café」が渡欧の足がかりに

倉茂 時期が2年ほど続きました。 それはタフですね。

建築家コレクティブ「A12」と出会 つながりからイタリアで活躍する若手 にも密な交流を続けました。そうした 感じていたので、ドイツやトルコ、海外 てない。そんな状況に居心地の悪さを にせず心置きなく語り合う場すら持 岩間 お金を支払わないと、時間を気 ローマを訪れることになったのです。 から来たメンバーの視点を借りるため



多摩川の河川敷に1日だけ現れては消える 仮設テント形式の「pop-up café」





### 2005 - 2014

食を中心にひとつのコミュニティの変化を 観察し、思考し続けた10年間

その頃、 界とのせめぎ合いで、 していたので、 多くのネゴシエーションが必要でした。 の人数の食事を用意するとなると、体力の限 あるのみで、メンバーは25人ほど。 私だけでそ スタジオのスタッフはどんどん増加 スタジオにはさまざまな国籍の をオーガニックベジタリアンへと 経済的な事情も考慮し、 文化圏もいろいろ。 働く環境改善のために

私の

食についての考察を自由に行える空間だった。





撮影: Christian Uchtmann / 岩間朝子 TYT (Take Your Time) Vol.5 : The Kitchen ©2013 Studio Olafur Eliasson and the author:

倉茂 ことになったきっかけについて教えてください。 オラファ 岩間さんが10年間関わったKitchenは、 ・エリアソンのスタジオに勤める

誘われたのです。実のところ、 ができる人を探しているのだけど来ない?」と 間 私の活動を知る友人から「大人数の調理 の名前すら知りませんでした(笑) 当時の私はオラ

> 重ねました。メンバーとのそうしたやり取り の問題を調べ、キッチン越しに情報の交換を

物アレルギ

も違えば、それぞれが持つ「おい

しい」のイメージも異なります。その違いを知

食材の背景にある生産、流通、分配など

岩間 当初スタジオにはごく簡素なキッチンが

倉茂

スタジオ内はどんな環境でしたか?

要性を可視化

し、料理する食材について深く

提案は、あまり意識されない毎日の食事の はとても重要で、ネゴシエーションや自発的な

知る機会につながります。

の人たちが、どのように反応する 食事メニュー 問題にも取り組んだものです。 屋上菜園やミミズコンポストなど、 報を忍耐強く提供し、食事にも反映させてい 意識は長期的に変化すると考え、 に変化しながら維持されていくのか試行錯誤 きました。オーガニックな食材を選んだほか、 見守ったほか、拡大する組織がどの や、分配の仕方によってスタジオ 土とゴミの のか観察

### 2002 - 2004

海外での活動を通じ、 移動すること、所属することについて考えを深めた

倉茂 ドイツではベルリンビエンナーレに参加さ

の過程を映像で記録させてもらいまし シピの背景についてインタビュー 料理を振る舞ったのです。

リの建築家ユニッ

Atelier 。 に 第 3

つのつな

から興味を持ったのでしょうか? ト活動と食の結びつきには、

作では重要でした。

残らず、現象的であることが、 であることに惹かれていまし

この頃の制

ベルリンにはトルコ系の移民がたく 行うことになったのです。 回ベルリンビエンナ

、さんいま

倉茂

その中にあるクルド

人コミュニテ

-の協力

でフェスティバルのような空間を作りました。 大きなフードマーケットに訪れる人へクルド を得て、毎週クロイツベルグ地区で開かれる チの段階では、クルド人女性たちにレ 小さな楽団も呼ん 料理

や、人が集まって生まれる場もエフェメラル

にしたことですが、食べると形を失う食物

みは意識していました。ローマでも たときにも、飲食物が人の集う場所をつく 岩間 日本で「pop-up café」で活動して 経済を生み出すというシンプルな仕組 改めて目

ワークショップの参加者がベルリンピエンナーレ会場で制作した モバイルキッチンでクルド料理を振る舞った。









体調や食

さながら世界の縮図のようでした

チン周辺で起こる出来事は、

Special Report 2

### 2020

制作にも影響はありましたか? ナ禍での開催になりました。岩間さんの 倉茂 今年のヨコハマトリエンナー

### ヨコハマトリエンナーレへの出展で

倉茂

ンカの歴史、 倉茂 を録音したり 個人史的で、 父子の関係性やスリ

精神と身体のバランスを崩していきまし に理想と情熱を持って海を渡りましたが、 られる作品でしたね。 社会学者だった若い父は、 社会的な問題が身近に感じ 50 年

父の日記や写真に生まれ故郷である

倉茂

ありが

とうございま

根源的なテーマを表現

捻出するにも一苦労しました。家族が寝静 の保育園も閉鎖されたため、 カを訪ねるつもりでしたが、渡航禁止にな まった夜中に、自分の声によるナレーション り、この状況でできることを考え直しま た。ベルリンはロックダウンされ、子ども 当初は亡父の軌跡を辿ってスリラン 制作時間を

思えませんが、自分の居場所を切望する えのない宝です。模範的な学生だったとは る場所でした。 会っています。 祥子さん、山城弥生さんとも女子美で出 動が続く「pop-up café」のメンバー とへ入り浸ったりしていました。 ように映画を見たり、 学生時代は図書館に入り浸り、 女子美の自由で寛容な環境から そうしたつながりが生まれ あの頃に得た友人はかけが 他学科の先生のも 現在も活 -の森田 食る DUK EVERYTAY





『Take Your Time Vol.5: The Kitchen』のコンセプト・ド ローイング。スタジオ、身体、植物、種子、微生物、DNA、 ミネラル、宇宙の8つのキーワードを章のテーマにした。

人間の身体を構成するミネラルの元素模型を太陽系に見立てた作品 「わたしたちの身体は小さな宇宙」



撮影:木暮伸也 写真提供:アーツ前橋 フードスケープ、2016年展示風景

撮影:大塚敬太 写真提供:横浜トリエンナーレ組織委員会

ヨコハマトリエンナーレ2020 展示風景

た風景を描き出そう 離れて移民として暮らす私の視点も含め 属・所有すること)とは何か」と、日本を 岩手県釜石市の風景を重ね、「belong(所 と試みました。

・レはコロ

躍するア 美の後輩にもそうした力を大切にしてもら 自ら学ぶ力に長けていると感じます。女子 岩間さ ティストは、好奇心を持つ力 N もそうですが、 国際的に活

私自身、 てほしい 界へとつながる扉になると私は思います。 じるようになったのか?」 と問いかけるこ に見つめ「なぜ自分はそう感じたのか、 その時々で感じる居心地の悪さをていねい いろな人と出会っていきました。 自分の気持ちを自由にするためにも、 学生のみなさんには、何にでも挑戦してみ とが大切です。 多くのものを与えられた気がしています。 常に迷いながらも直感を信じ、 し、諦めずに続けてほしいですね。 その問いかけが、 新たな世 いろ 感



### 2014 - 2016

### 13年ぶりの帰国による 視点の変化を作品に投影

空間実験研究所(2009 備の合間に料理写真を撮影し、 ングを重ね、カメラマンと日々の食事の準 編集者やグラフィックデザイ 提案しました。 Time Vol.5: The Kitchen」※です それまで考え続けていたキ ト・ドロー 1年の東日本大震災をきっかけに、 ーイングにし、 オ ラファ スタジオや 2 をコン

> 倉茂 トともいえる出版物になったと思います。 スタジオで過ごした10年間の集大成

た食事のレシピ集を作りたいとオラ

から話があり制作した『Take

Your

2

年にスタジオで提供

し、美術大学の夜間学部に編入しました。 ことを可視化する試みでした。 人間と自然の循環など、 サービスなどの側面や、 そうですね。 13年間離れていた日本へと帰国 食の持つ、 食物の生産 ホスピタリ いろいろな

過程、

岩間

その後、

この2年間で映像編集の技術を身に付け

改めて日本語での思考や文章化を

果的に、スタジオで働く全員のポ で出会った人々に寄稿を募りました。結 日本語圏にいる気楽さも新鮮で、 を2本発表します。 時間となりました。在学中には映像作品 実践したのですが、ずっと働きながら制作 してきた私にとって、この2年間は特別な

倉茂

2

14年の帰国前に、

書籍を制作

されていますね。

があることに疲弊していた部分があった ベルリンでは何でも言葉で説明する必要 図書館で日本語の本を読み漁りました。

(宇宙論)や、 を考えたときに得た個人的なコスモロジ はオラファー レーション作品を出展しました。このとき たちの身体は小さな宇宙」というインスタ をテーマとした企画展に招かれ「わたし 大学生活2年目には、アー なと気づきました。 スタジオでレシピ集の章立て 東日本大震災の放射能汚 ツ前橋から食

染のことが念頭にありました

激化を見てきた岩間さんの父親が遺しフィールドノート 資料や写真が層になった作品「貝塚」。ヨコハマトリエ ンナーレ2020で発表



### オンライン女子美祭 2020

23 日

~25日の3日間、「オンライン

する良い機会となりました。 それぞれの活動や制作した作品を発表 演会に代わり、今年はYouTubeにてゲ 品を販売。ま Instagramでの各学科の授業作品展示 女子美祭実行委員の学生たちが中心と をオンライン上で実施しました。今年は 催。相模原キャンパスでは「一目惚れ」、 女子美祭202 と出演。 ヤンパス」、 るイ ト出演動画の限定配信を行いました。 月24日は「おかずクラブ in 特設サイ 両キャンパス合同でさまざまな企画 オンラインならではの企画として -ラスト 杉並キャンパス」と豪華なゲスト その他に ル活動の発表動画、卒業生に 10 ト内で有志学生による作 スでは「白昼夢」 tz 月25日は「3時のヒロイ 0」を特設サイ 毎年恒例のゲスト講 キング等が ŧ 学生 の映像作品 in 相模原

### 女子美の感染症対策と取り組み

新型コロナウイルス感染症が世界的な規模で拡がったことによる社会環境の変動は大きく、予測不可能な日々が続いています。本学は、前期の授業がオンラインでの遠隔授業となり、いち早く学生のための通信環境費用の一律補助を発表しました。また、後期の対面授業を行うために杉並・相模原両キャンパスの環境整備を行い、教室や工房などでの感染リスクを低減させるための対策を講じ、状況に合わせ段階的に規制を緩和しています。 学生、教職員をはじめ、来校者の方を含めた皆様の安全を最優先に考え、今後も慎重に取り組んでまいります。

Alサーモグラフィカメラ による入構時検温の 実施



学生証パーコードリーダー 読み取りによる 学生の入構確認



キャンパス内各所に アルコール消毒液を設置し 手指消毒の徹底



実技室、研究室、事務室 窓口各所にアクリル板・飛沫 感染防止カーテンを設置



マスク着用や手指消毒の 注意喚起などのポスター掲示 呼びかけによる周知徹底

5



学生食堂や学生ロビー等、 各所にソーシャル ディスタンスサインを設置



定期的な校舎内の窓の 開閉やサーキュレーター 設置による換気の徹底

7



教室の机や椅子、 学生食堂、化粧室等 |日|回以上の消毒の実施

8



### [その他 主な取り組み]

○本学WEBサイト上に「特設サイト」を作成し、在学生や留学生、受験生に向けてさまざまな情報を発信。学長からのメッセージも公開しました。○学内への入構に関して、段階ごとに学生・教職員に対してポータルサイト、メールやWEBサイト等を活用し、時間の制限や入構許可等の情報を配信しました。○朱健センターでは、オンラインによる「心と身体の相談」などを随時行い、心身ともにケアを行っています。○対面授業を安全に再開させるために学内委員会を立ち上げ、キャンパス内を校医と共に巡回し、教室の収容人数や換気などの感染防止対策が適切に行われているかチェックを行いました。○二ケの会(保護者の会)より学生への助成として「消毒液」「非接触型体温計」を購入。各研究室に配布しました。



(16)

Report 4

(15)







### 03 | 「自然とともに生きる海女とアーティスト 昔と今。石鏡町と神保町にダイブ!」展 開催

7月18日から本学芸術学部で共通専門の准教授であるリンダ・デニス 先生が、キュレーションから作品展示までを手がけた展覧会「自然とと もに生きる海女とアーティスト 昔と今。石鏡町と神保町にダイブ!」が 三重県鳥羽市で開催。2021年1月23日からは鳥羽市石鏡町内各所や 海の博物館ギャラリーでも展示が行われるほか、3月16日からは東京 都千代田区でも開催します。この展覧会では、三重県鳥羽市石鏡町

の"海女"と東京都千代田区神保町にある"海女の浮世絵"という伝統 文化と芸術から、アーティストたちがインスピレーションを受けて制作 した作品の展示を行なっています。また、本学芸術学部美術学科洋画 専攻に在学中である北村芽子さんもアーティストとして展示に参加して います。各地で行われる展示は全て2021年3月31日までの開催を予定 しています。



95 女子美×株式会社日水コン プロジェクト 国土交通大臣賞 「循環のみち下水道賞」を受賞

本学と株式会社日水コンの協業による、「ART×下水道〜異分野との環から生まれた 汚泥染め白衣〜」が、国土交通省が水循環や資源循環の取り組みをたたえる賞である。国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」(広報・教育部門)を受賞しました。「ART×下水道」プロジェクトは、芸術(アート分野)と下水道(サイエンス分野)という異分野の協働により、新たな下水道の価値の発見や創造を目指して行われ、社会経済情勢の変化に対応し、多様な面から社会に貢献した優れた事例として表彰されました。



萩尾望都客員教授 『萩尾望都 紡ぎつづけるマンガの世界 ~女子美での講義より~』出版

本学客員教授であり漫画家として多くの作品を生み出している 萩尾望都先生が、杉並キャンパスで行った特別講義を書籍化した『萩尾望都 紡ぎつづけるマンガの世界〜女子美での講義より〜』を、8月に出版しました。萩尾先生と同じく本学客員教授であり宇宙飛行士の山崎直子先生や、本学卒業生でシンガーソングライターのイルカ先生との対談のほか、美術史家の中野京子さんとの対談等も収録された見どころ満載の内容となっています。





### **01** | 相模原市南区の10周年記念 ロゴマークをデザイン

本学芸術学部美術学科日本画専攻3年の山田穂香さんが、神奈川県相模原市南区の10周年記念ロゴマークをデザインしました。ロゴマークは2種類あり、「10周年」の記念であることやお祝いのイメージが分かりやすく表現され、相模原市南区のイメージを取り入れたカラフルな色彩が目にとまるデザインとなっています。山田さんは「南区誕生10周年という節目のお祝いと、これからも続いていく南区の未来を表現している」とデザインについて説明。また、このロゴマークは今後、相模原市南区10周年イベントで使用されます。

## NEWS - & TOPICS







岸野 香「音階」2020年制作 第26回足立美術館賞 受賞

### **]2** | 「再興第105回院展」受賞

公益財団法人日本美術院が主催運営している日本画の公募展覧会「再興第105回院展」が、2020年9月1日~17日にかけて東京都上野の東京都美術館で開催。同人作品と応募された日本画の作品388点の中から選ばれた入選作品、合わせて299点が展示されました。この展覧会に本学芸術学部美術学科日本画専攻教授である村岡貴美男

先生が作品「深淵」を出品し、文部科学大臣賞を受賞。9月1日には 再興第105回院展授賞式に参加されました。同じく芸術学部美術学科 日本画専攻教授の岸野香先生は作品「音階」を出品し、第26回足立 美術館賞を受賞されました。作品は島根県安来市古川町にある足立 美術館のコレクションとして収蔵されます。

(18)

News & Topics







### 韮崎大村美術館ワークショップ 先端技術が開く日本画天然岩絵具の 新展開 ~粉体工学から染色まで~

II月7日に山梨県の韮崎大村美術館にて、本学名誉教授の橋本弘安先生とデザイン・工芸学科工芸専攻准教授の荒姿寿先生による実技体験や、大阪大学教授で粉体工学を研究されている内藤牧男先生による講演を開催。講演では、粉体工学や岩絵具の素材と先端技術による可能性について解説いただきました。また実技体験では、韮崎市内の小石や土を砕いて作られた「韮崎産岩絵具」を使って描く体験や、サブミクロン・ナノ粒子原料を用いた型染めでコースターを染める体験が行われ、参加した韮崎市内の中高生たちにとって、菲崎の色を楽しみながら天然前料の象深まに触れる良い機会となりました。



### 日本色彩学会 第51回 全国大会 「2019年度日本色彩学会論文賞」を 受賞

日本色彩学会第51回全国大会で、本学大学院美術研究科博士後期 課程芸術文化研究領域色彩学を修了した中島由貴さんの論文「手の 肌色の見えに対する照明光とネイル色の影響」が「2019年度日本色 彩学会論文賞」を受賞しました。日本色彩学会論文賞とは、その年の 『日本色彩学会誌』や『Color Research and Application』誌、または 『Journal of the International Colour Association』誌に掲載された 論文の中から、最も優秀な論文を表彰するものです。また、受賞者たち の表彰式は、色彩学会全国大会にてオンライン上で行われました。







### 06

### 女子美 × アサヒビール株式会社 × 東京都墨田区 期間限定ストア「びあ茶房 ひとえ」をオープン

東京スカイツリータウンソラマチにある「産業観光プラザ すみだまち 処」にて、本学とアサヒビール株式会社との産学連携によるボップアップストア「びあ茶房 ひとえ」が9月19日~22日の4日間限定で開店。本学デザイン・工芸学科プロダクトデザイン専攻の学生が「クラフトビール×"すみだ"が誇る地元の和菓子のペアリングを楽しむ」をコンセプトに、メニューの構成やデザインに加え、空間プロデュースなど総合的

に考案しました。古くから日本で親しまれている抹茶と和菓子のペアリングのような、苦味と甘味の相互作用から着想し、アサヒビール株式会社製造の東京都墨田区のクラフトビール「TOKYO隅田川ブルーイング」と墨田区銘品名店会の和菓子を組み合わせることで、新しいビールの楽しみ方を提案するとともに墨田区の地域活性化を目指しました。 指導教員: 芸術学部デザイン・工芸学科プロダクトデザイン専攻主任 松本博子教授







### 女子美×UHA味覚糖株式会社×神奈川県 「とろけるグミ 湘南ゴールドグミ」発売

女子美術大学とUHA味覚糖株式会社、神奈川県とがコラボレーションし、かながわブランド柑橘である湘南ゴールドの果汁を使用した「とろけるグミ 湘南ゴールドグミ」が発売されました。バッケージデザインは本学デザイン・工芸学科ヴィジュアルデザイン専攻4年の山中美穂さんによるもので、湘南ゴールドの産地である県西地域をイメージした波と、湘南ゴールドのイラストを大きくあしらったデザインとなっています。10月5日には神奈川県知事への贈呈式が行われ、贈呈者として本学からはデザインを手がけた山中さんと芸術学部長の松本博子先生が参加しました。



### ICAF2020開催

今年度で18回目となる学生アニメーションの祭典「インター・カレッジ・アニメーション・フェスティバル(ICAF2020)」が9月19日~10月4日にかけて、今回は初のオンライン上で開催しました。全国から22校の学校が参加し、各校の教員によって推薦された学生出品のアニメーション作品159本が特設WEBサイトで上映。本学からはアート・デザイン表現学科メディア表現領域の学生が、こだわり抜いて制作したアニメーション作品8本が公開されました。







### **]8** | 長野県高山村の オリジナル婚姻届をデザイン

女子美術大学と長野県高山村、株式会社Goolight (須坂市北横町)が 2006年から取り組む「産学官連携地域文化創生事業」の一貫で、今回「長野県高山村オリジナル婚姻届」として、本学在学生3名が考案した3種類のデザインが起用されました。完成した婚姻届は村役場での報道発表会で披露され、オンライン上では本学名誉教授である羽太謙一先生と3名の学生も参加し、デザインコンセプト等を発表しました。また、このオリジナル婚姻届は高山村役場にて配布され、2020年10月より使用されています。







### JAGDA 国際学生ポスターアワード 2020 にて 銅賞受賞・入選

国内外の優れた若い才能の発見と顕彰、およびグラフィックデザインの新たな発展と進化を目的に創設された「JAGDA 国際学生ボスターアワード」。今年開催された「JAGDA 国際学生ボスターアワード 2020」では「Money」をテーマに、各国から作品が集まりました。オンライン審査後に入選作品が発表され、実物審査を経て受賞作品を決定。本学からは在学生15名の作品19点が入退し、その中でデザイン・工芸学科グィジュアルデザイン専攻3年の藤澤紗也香さんの作品「マリオネット」が銅賞を受賞しました。受賞作品は目サイズのボスターとして、国立新美術館でも展示されました。

(20)

News & Topics

### 女子美術大学歴史資料展示室 展覧会情報

展覧会報告 PICK UP

2020.4.7(火) - 12.25(金)

杉並 女子美術大学歴史資料展示室

### 女子美術大学 創立120周年記念展覧会 言葉とともにふりかえる120年

歴史資料展示室において上記の展覧会実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による学事日程の変更に伴い、臨時休室とし、学内のイベントに合わせる形で数日間、特別開室しました。本展では言葉をテーマとし、重要な人物の言葉や学校目的を示した言葉などを、歴史資料とともに紹介。また、10月30日には、創立120周年記念式典に併せ、美術館(JAM)所蔵 染織コレクションの特別公開を行いました。この展示では、染織コレクションの三本柱であるコブトの織物・アンデスの織物・日本のきものから名1~2点の資料を展覧しました。

歴史資料室では、教職員を対象とし、写真や動画を 投稿していただく方法で、コロナ禍の状況を記録に 残す試みを行っています。特に募集する写真や動画 は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を示す新 しい授業の進め方、事務部署の対応などに関するも のです。詳しくは、歴史資料室ウェブサイト「参加型 アーカイブズ」にてご確認ください。



歴史資料室ウェブサイト http://www.joshibi.net/history/

※「参加型アーカイブズ」に投稿された写真や動画は現時点では公開しておりません













### 株式会社文盛堂と 女子美のコラボレーション 「文具のなる木」が完成

神奈川県相模原市中央区の老舗文具店である株式会社文盛堂のリニューアルオーブンに合わせ、本学学生がデザインした店内オブジェ「文具のなる木」が完成。このオブジェは、本学デザインルームで企画からデザインまでを引き受け、学生によるコンペティションの中から芸術学部デザイン・工芸学科ブロダクトデザイン専攻3年の堀ヒカルさんのデザインが選ばれました。当初デザインのみの予定でしたが、芸術学部美術学科立体アート専攻の先生方の協力により立体化したオブジェを製作。完成披露式では、デザインした堀さんに株式会社文盛堂より感謝状が贈られました。





### 13 オンラインによる 留学生交流会・留学生作品展を開催

毎年、留学生同士や日本人学生との交流を深めるために開催している留学生交流会。今年は「デコ寿司留学生交流会」として、デコ巻き寿司講師を招いた交流会をオンライン上で開催しました。日本で好きになった日本食やお勧めの日本料理を語り合いながら、桃の花やカエルなどの巻き寿司を作り、楽しい時間を過ごしました。また、本学WEBサイト上では、短期大学部を登まで学能をして大学院の留学生11名による「2020年度留学生作品展」も開催。留学生それぞれが今を写真に撮り紹介することで、新しい発見が生まれる作品展となりました。

### MESSAGE

### 新任教員からみなさんへ



三谷 理華 芸術学部 共通専門研究室 特任教授

局取県生まれ。京都大学文学研究科修士課程美学美術史学専攻・パリ第4大学-- ルボンヌマスター課程実 補史学専攻を、福岡市美術館、静岡東立美術館で 学芸員として勤務。専門は19世紀から20世紀前半の ヨーロッパ美術史。主な担当展覧会に「ラファエル・コ ラン展」、「レオール・フジタ展」、「みんなのミンタマ」 展、第12回倫雅美術質助賞、第1回ジャポニスム学会 ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | ### 1000 | 美術の歴史、つまり美術の過去のあり方を知ることは、 今の私たちとは遠い世界のお話を探ることのように感じ あかもしれません。ですが、過去の脈々とした積み重ね が現在に繋がっていることを思えば、歴史を知ることは、 しばしば「何故今こうなの?」という疑問に対する答えを 導く近道となります。そしてそれは、今目の前にある世界 へ別の角度からまなざしを注ぐことへとも導き、見慣れた 事柄を新鮮なものへと変えていってもくれます。こうした 美術をめぐる歴史の冒険の旅を、みなさんと一緒に楽し んでいげたら嬉しいです。





### 女子美術大学広報誌

行 学校法人女子美術大学

〒166-8538

東京都杉並区和田1-49-8 企画・編集 総務企画部広報グループ

監 修 担 当 佐藤真澄・松山智一

デザイン協力 株式会社 Kitchen Sink. 印 刷 株式会社ヒーローズ

発 行 日 2021年1月22日

◎ 2021 学校法人女子美術大学

広報グループでは女子美のニュースを募集 しています。お気軽に下記までお知らせくだ さい。また、本誌の定期購読をご希望の方は お送り先を広報グループまでご連絡ください。

広報 グループ

TEL 042-778-6123 E-mail prs@venus.joshibi.jp URL https://www.joshibi.ac.jp